



新政クラブ
松井 篤
Atsushi Matsui

議員

Question

- ・みどり市グリーンパークの運営と整備の継続について
- ・樹木の適正管理について

◎グリーンパークの運営方法は。

①**健康づくり局長** 安全かつ効果的な管理運営には、利用者のモラルに期待しつつも、仕組みや地域コミュニティの観点からの補完も必要である。「公園サポーター」としてボランティアに携わってもらうほか、供用開始当初は混乱が生じる場面も想定されるため職員などの配置も検討している。

◎みどり市グリーンパークの多目的グラウンドに位置付けている旧西鹿田グラウンドの整備の継続は。

①**同局長** 令和8年度中に駐車場や管理棟の整備も含めた測量、設計を行い、令和9年度以降に工事を実施する計画である。

◎オープンや今後の整備の総括的な所見は。

①**市長** 本格的なサッカー場とインクルーシブ^{*}に楽しめる遊具を配置し、災害時には広域防災拠点の役割も担う多目的な施設である。安定的な管理運営のためネーミングライツパートナーの募集も行い、ハード・ソフト両面からオープンに向け万全な準備を進めている。旧西鹿田グラウンドについては、多目的グラウンドとして利用者の利便性に配慮した整備を行う。また、円滑で安全なアクセスのため道路整備は重要であり、既に着手している市道笠懸1107号線の改良を引き続き進める。その整備効果も踏まえ、さらに西方向に延長し、

笠懸町第10区公民館の前を東西に走る市道笠懸1197号線に接続するアクセスルートの拡充も必要性を確認した上で検討する。



◎危険木の把握体制と安全対策のための部局を超えた予算措置は。

①**副市長** 公共施設の調査を全庁的に行い、被害防止に努めている。また、今年5月には梅雨や台風シーズンを前に、樹木の適正管理、倒木や枝折れの点検、さらにはクビアカツヤカミキリの虫害をチェックするよう所管課に指示した。今後も頻発化する台風の発生や線状降水帯などの災害の激甚化を念頭に、機動的な点検と迅速な措置を徹底し、危険度や利用状況を踏まえ優先順位を明確にした計画的な維持管理を進める。また、緊急的な措置が必要な場合には、適切な予算確保が不可欠であるため、予算がないから対応できないといった事態が起こらないよう、予備費などを柔軟に活用した機動的な予算執行により、市民の安全安心を最優先に全庁を挙げて樹木管理に努める。

※インクルーシブ…全ての人が安心して利用・参加できるよう配慮する考え方のこと。



広和クラブ
中村 正義 議員
Masayoshi Nakamura

Question

・公共施設の安全確保と有効活用について



◎学童保育施設のシロアリ被害の確認状況は。

①**子ども未来戦略局長** 令和8年に第2笠懸東学童クラブで、シロアリ被害によりトイレのドアが破損した報告を受けている。

◎子どもの命と安全を守る観点から学童保育施設の環境整備と安全対策を最優先課題の1つとして進める考えは。

①**市長** 市内の学童保育所は整備から約20年が経過し、老朽化に伴う設備や建物の計画的なメンテナンスが必要な時期を迎えている。「みどり市公共施設個別施設計画」に基づき改修を進めるとともに、将来的な施設の移転、統合を含めた適正配置も検討し、安全な環境整備に努めていく。



◎市営住宅リニューアル事業の目的と方針は。

①**都市建設部長** 東町地域ビジョンに基づく移住定住政策として、市営住宅を有効活用し人口減少対策に取り組むものである。令和8年度は中居団地と下小池団地をリニューアルし、中居団地は子育て世帯向けの住環境整備、下小池団地は移住希望者などに対応したリフォームを進め、地域定住と活性化につなげていく。



◎人口減少下、市営住宅を子育て・移住定住・地域活性化に生かす考えは。

①**市長** 今回の市営住宅リニューアル事業は、既存のストックに「子育て支援」「移住促進」「地域活性化」という多角的な価値を付加する、極めて意義深い取り組みであると考えている。市営住宅が地域の活力を生み出す拠点となり、それがさらなる波及効果となって北部地域全体の再生に向けた起爆剤となることを期待している。



広和クラブ
深澤 輝彦 議員
Teruhiko Fukasawa

Question

- ・「木の駅」事業について
- ・租税教育について
- ・安全保障教育について

◎「木の駅」事業は、森林所有者の所得向上や森林整備、地域経済の活性化につながる有意義な事業である。今後の事業展開と、持続可能な事業とするための収支の見通しは。

④産業観光部長 まきの生産量は令和8年度に約200トン、令和10年度以降には約220トンへと増やす計画である。「木の駅」の設置や運営にかかる費用は、森林環境譲与税や国の交付金を活用し、全額を賄っている。

◎私は納税して初めて財産を残すことができると実感している。税を単に義務や負担として学ぶだけでなく、勤労・納税・将来の生活設計までを関連付けて学ぶことが、主権者教育として重要では。

④教育部長 利益と納税のための蓄えの関係など、実社会の経済活動の仕組みを正しく理解することは重要である。勤労から資産形成に至る一連の流れを体系的に学び、より実社会の経済活動に即した視点を取り入れた教育を展開していく必要がある。

◎経済的自立や資産形成を含めた租税教育のさらなる充実は。

④教育長 税を義務や負担としてだけでなく、自立した社会の一員となるための視点から学ぶことは、主権者教育の重要な要素である。今後は税務署や税理士会に加え、民間金融機

関との連携も視野に入れ、勤労、納税、生活設計などのつながりを子どもたちが体系的に理解できるよう授業づくりを支援し、租税教育のさらなる充実を図っていく。



◎現実の国際社会には、統一された政府も警察も存在しない。このような現実を理解した上で平和を考えることが、これからの主権者教育に求められるのでは。

④教育長 中学校の公民分野では、主権者教育の一環として、「我が国が選択すべき安全保障や国際協力の在り方を、主体的に考察・判断するための材料」として位置付けて指導するなど、子どもたち自身が多面的な視点で考察できるよう取り組んでいる。



広和クラブ
須藤日米代 議員
Himeyo Suto

Question

- ・旧花輪小学校記念館の利活用の課題・発展に向けた取り組みについて
- ・新事業の防犯対策について



◎旧花輪小学校記念館の課題認識は。

- ①**教育部長** 長寿命化対策の検討と施設改修計画が課題である。今後の施設改修や維持管理については、管理委員会や地元住民の意見・要望を聞きながら計画を立案していく。

◎花輪駅周辺の景観と連動した周遊ルートの整備は。

- ①**東支所長** 国道122号線から花輪地域内へのアクセス道路改良を計画しており、大型観光バスの来訪が期待できる。また、現在は職員駐車場としている東支所東側を大型バス専用駐車場として整備・利活用していく方針で検討を進めている。

◎旧花輪小学校記念館の一室を活用したカフェ・軽食などの展開は。

- ①**市長** 歴史的文化財としての保存と活用の両立や衛生管理、運営体制、採算性などが課題。国登録有形文化財は保存を前提としつつも、内部改修の自由度が比較的高く、カフェや資料館など多様な活用が可能である。観光との

連携や週末カフェなど滞在型コンテンツを検討し、魅力向上に取り組んでいく。

◎新施設の防犯対策は。

- ①**保健福祉部長** Y S 湯～トピアみどモスパは防犯カメラ18台、街路灯・スポットライトを55カ所設置した。
- ①**健康づくり局長** みどり市グリーンパークは駐車場や園路に照明59基を設置する。
- ①**産業観光部長** ユーホクサギには防犯カメラ13台を設置する。



◎3施設についてキッチンカー出店は。

- ①**保健福祉部長** 各施設で出店を想定しており、今後、募集要項やガイドラインを作成する。

